



芦高Times

第29号
発行/県立芦屋高等学校
芦屋市宮川町6番3号

2018
1
月号

AUSS:Ashiya Upper Secondary School

台湾修学旅行 ~絆が強まった三重高級中学との交流~



11月28日(火)、交流を通して絆を強めること、異文化を通し視野を広げることを目的に、台湾修学旅行へ出発しました。

1日目は、京劇を鑑賞し、台湾の伝統文化に触れ、台湾に来たことを実感することができました。

2日目は、姉妹校である三重高級中学を訪問。10月に60名の三重高級中学の生徒が本校へ来訪し、交流したこともあり、多くの生徒がその時のバディと再会できるという喜びを味わうことができました。交流会では本校生が練習を重ねてきた演技を披露し、三重高級中学のみんなに大変喜んでもらいました。

3日目は、B & S (Brother&Sisterプログラム) で各班が現地の大学生とともに台湾市内や九份を巡り、夜市では台湾ならではの食事を楽しみ、台湾の文化や歴史に触れ充実した活動ができました。

帰国の際には、生徒はこの修学旅行で、台湾の素晴らしさと日本の良さを改めて感じたことと思います。

生徒の感想

三重高級中学との交流が印象的でした。現地で初めて会ったバディとの昼食や部活動体験、交流会がありました。交流会では、ダンスや部活動のパフォーマンスを披露しあい、大変盛り上がりました。多くの人がバディと連絡先を交換し、今も連絡をとりあっています。

現地の大学生の方と一緒にいったB & Sが楽しかったです。私たちが行った九份は、細い路地に食べ物やおみやげの店が並んでいて、その独特な雰囲気を感じたり、初めてのものを食べたり、班のみんなと楽しい時間を共有することができて嬉しかったです。



授業紹介 Part 3

高大連携授業

「大学での授業を高校の単位として認定する制度」のことです。本校では、2・3年次生の選択科目の一つとして設定しており、金曜日の午後に近隣の大学で開講されている講義を受講します。定期試験も大学生と同じものを受けます。



生徒の感想

★甲南女子大学「女性と運動」

妊娠中の母親の健康や習慣が子どもの体に深く関係してきます。自分にはまだ遠い話だと思いましたが、将来に備えて、今から知っておきたいことです。

★甲南大学「国際理解Ⅱ」

信仰する宗教によって、納骨の仕方や埋葬の仕方が変わるのはおもしろいと思いました。

★関西学院大学「国際理解」

アフリカの子ども3人に1人が児童労働をしているのに対し、アジアの子どもは8人に1人、発展途上国とそれ以外の国の差を感じました。

★神戸大学海事科学部「海洋学」

高校の授業でも「いつか未来にハワイは日本とぶつかる」と聞いていましたが、大学で学ぶことにより具体的な年数や、理由を聞くことができるので、高校以上に詳しく学べて専門的だなと思いました。

~芦笛~伝統を引き継ぐ



本校には、『芦笛』という自治会執行部（他校でいう生徒会）発行の冊子がある。70年の歴史を誇る本誌には、今も昔も部活動の記録が多くのページを取って掲載されている。昔の芦笛（1960年）を開けば、硬式野球部が《芦高の第二期黄金時代》を迎え、軟式庭球部は《文句なしに全国大会出場決定》と謳い、多くの運動部が全国大会へ行く輝かしい時代や、《盗難により記念祭に展示する動物がいない》《今年の新入部員はゼロ》と嘆く、今はない園芸飼育部の苦労話など、本校の部活動の歴史を振り返ることができる。現在、芦高生の入部率を見ると、男子は運動部8割、文化部1割、女子は運動部4割、文化部5割となっており、全自治会員の9割が部活動に所属し、学校を盛り上げている。放課後は昔と変わらず部活動に励み、自己研鑽する姿は、これからもこの『芦笛』を通して、未来の芦高生につながっていくことだろう。

生徒課：遠藤小百合

芦高 Topics

自治会書記長：柚津 麟太郎

毎年卒業生に配られる『芦笛』。この冊子は卒業生へのメッセージや芦高の一年間の概要などが書かれています。僕の主な仕事は、先生・生徒、部活動の後輩から卒業生へのメッセージを集めたり、担当の先生と綿密な話し合いをし、集めた資料を編集していくことです。『芦笛』は代々、書記長がその年の芦高の在り方をまとめ、繋いできた伝統の一つです。それを僕の代でも受け継ぐことが誇らしいです。伝統を紡いでいくために、完成に向けてもうひと頑張りです。

